

パブリック・サービス研究分科会 3月 報告書	
日時	2016年3月11日(金) 10:00~17:00
場所	武蔵野プレイス、成蹊大学図書館
記録	太田(明星大学)
参加者 (氏名五十音順)	太田(明星大学)、佐藤(獨協大学)、長谷川(中央大学)、山之内(芝浦工業大学)、山本(日本体育大学)

【武蔵野プレイス見学】10:00~12:00

武蔵野プレイスは、東京都武蔵野市にある図書館・生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援の4つの機能を持つ複合施設である。公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者として運営している。

地下2階~地上4階まであり、図書館機能としては地下1階がメインライブラリーになっている。1階にはカフェが併設され、寛げる空間になっている。2階には児童コーナーと生活・家庭関係の資料がある。2階には1階のざわめきが適度に届き、子どもの声などが中和されるため小さな子ども連れの親子でも利用しやすいようである。

本を借りるだけでなく、長時間過ごすことを想定した図書館づくりが目立つようになってきた。いろいろな意見もあると思うが、飲食や多少の騒音を許容するなど、かつての図書館のイメージからの脱却がはかられているのではないだろうか。ラーニングコモンズの設置にはじまり、大学図書館にも「滞在型」を目指して飲食や会話を許容するなど同様の動きが広がっている。

【成蹊大学図書館見学・情報交換会】14:00~17:00

2006年に改装された成蹊大学図書館は、「プラネット」と呼ばれるグループ学習室が特徴的な建物である。閲覧スペースと書架スペースが明確に分けられ、建物の中央が吹き抜けになっており、そこが「プラネット」を含む閲覧スペースとなっている。このエリアに学生が集まるため、様々な活動に取り組む学生の姿が分散せずに、他の学生にも良い刺激を与えそうだ。多少の話し声は許容しているとのことだが、時として騒がしくなることもあり、館内放送で注意を呼びかけるなどして対処しているとのこと。静かな環境で集中したい学生には「クリスタルキャレル」と呼ばれるキャレルデスクも用意されている。

情報交換会では、職員人事、業務委託、学生協働、自動化書庫の管理、また見学日が3月11日だったこともあり震災への対応など多様な話題が取り上げられた。ここで全てを記すことはできないが、大学ごとに工夫や課題がそれぞれに挙げられ、参考になった。私大図協の分科会活動は様々な情報や意見の交換ができる貴重な機会であることが確認できた。

【次回月例会開催予定】

日時：4月22日(金) 13:00~17:00 会場：明星大学

以上